

友好都市中国黄石市訪問事業報告書

- 1 訪問先 中国 黄石市
- 2 期 間 令和7年7月21日（月祝）～25日（金）
- 3 訪問者 渡辺英人（議長） 浅野典之（文教経済委員長）
- 4 目 的 1997年12月1日に関市と友好都市提携協定を締結した中国黄石市との新たな協定締結に伴う式典及び関係行事等に参加するため、山下清司市長、常川雅通国際交流協会会長等と訪問する。また、1985年に関市のサンテイ株式会社と黄石市の美爾雅（メリヤ）集団有限公司の合弁会社として設立された美爾雅服飾有限公司などの現地の企業の他、高校、観光名所等についても視察する。

黄石市の概要

黄石市は、揚子江（長江）中流の西に位置し、湖北省の省都・武漢市について2番目の都市である。人口250万人、面積4,630平方キロメートルで、市内には2市区、1県、4区があり、市の中心市街地である黄石市区の人口は63万人、面積は227平方キロメートルである。中国の青銅の発祥の地で三千年の歴史があり、西周時代の大冶同緑山鉱冶遺跡（青銅の精錬作業場跡）は「世界の奇跡」と言われている。金、銀、銅、鉄鉱石などの地下資源が豊富で採鉱しやすいという特徴があり、物流の面でも優れているため、「江南の宝物」、「楚銅（そどう）の都」と言われている。黄石市は、中国の重要な工業都市で鉱物資源を生かした金属精錬に加え、機械や電気、化学工業、アパレルなど幅広い分野での発展を遂げている。長江に近く海運に恵まれ、高速道路、鉄道も整備され、国際都市として大きな発展を期待されている都市である。

1日目 7月21日（月祝）

公用車で関市を出発し、ホテル日航関西空港に到着、宿泊する。

2日目 7月22日（火）

関西国際空港から午後1時50分発、午後4時15分着の便に乗り、武漢天河国際空港へ到着する。空港からは黄石市が用意したバスに乗り、約2時間かけて黄石市中心地へ移動し、都市再生の取組、未蘇湾都市更新プロジェクト※1が進められている磁湖のほとりにある黄石市が手配した食事会場「山水黄石醉美磁湖」で黄石市の郭宝副市長らと夕食を取る。

その後、黄石市政府庁舎の近くにある聞泰花園酒店ホテルにチェックインし、飲食店「三五軒4D厨房」で美爾雅服飾有限公司の従業員数名と一緒に飲食をし、午後1時30分頃にホテルへ戻る。

3日目 7月23日(水)

午前8時頃にホテルを出発し、勁牌(ジンパイ)有限公司が運営する企業展示館、勁牌展示館※2、伝統を守りながらも革新を取り入れた劉小紅刺繍を展示する劉小紅刺繍美術館※3、日本の高校にあたる黄石第二中学校※4を視察後、磁湖のほとりにある黄石市が手配した昼食会場で食事を取る。

午後からは、黄石市にある山、東方山の最高峰にある歴史的建造物であり観光名所でもある東昌閣※5、電子商取引拠点の黄石臨空越境EC産業パーク※6、1985年に関市のサンテイ株式会社と湖北美爾雅集团有限公司の合弁会社として設立された繊維・衣料品企業、美爾雅(メリヤ)服飾有限公司※7を視察する。

ホテルへ一旦戻り、すぐに黄石市庁舎と接続するホテルの式典会場へ移動し午後5時からの式典に参加する。式典には、黄石市の呉之凌(ウジリン)市長、郭宝副市長をはじめ、黄石市の幹部職員4名とその他の職員数名が出席し、黄石市長による歓迎の挨拶後、山下市長が挨拶を行う。黄石市長が、渡辺議長、浅野議員、常川国際交流協会長、随員職員の藤井、寺町にも順に発言を求めたため、それぞれ挨拶を行う。

その後、「友好都市交流の深化に関する協定」に双方の市長が署名し、協定を締結する。記念品交換が行われ、黄石市からは劉小紅刺繍の置物、関市からは33層ダマスカス三徳包丁と水うちわ手描き鮎一重(台座付)をそれぞれの市長がお互いに手渡し、記念撮影が行われる。

その後、同館内の別会場へ移動し黄石市の幹部職員との晩餐会が行われる。

晩餐会終了後、一旦ホテルへ戻りすぐに美爾雅服飾有限公司の社屋の中にある厨房付きの食事会場へ移動し従業員数名と一緒に飲食をした後、午後11時30分頃ホテルへ戻る。

4日目 7月24日(木)

午前8時過ぎにホテルを出発し、黄石市が用意したバスに乗り黄石駅へ移動する。黄石市の関係者とはここで別れ、高速鉄道に乗り武漢光谷東駅に移動する。スーツケースを常川氏の関係者に預け宿泊するホテルへ運んでもらい、無人EVタクシー乗降場まで徒歩で移動し乗車する。一般の自動車も走る道路10.2kmを走行して珞喻路街道口地下鉄駅付近の乗降場で降りる。駅から地下鉄に乗り湖北省博物館駅へ移動し博物館を見学する。博物館に隣接するレストラン「曾宴」で昼食を取った後地下鉄に乗り、徐家棚駅で乗り換え司門口黄鶴桜駅に到着する。黄鶴桜を遠方から眺め、徒歩で揚子江フェリー港へ移動、観光フェリー(武昌→漢口)に乗船し揚子江を渡る。漢口港から中心市街地を徒歩で移動しマルコポーロ武漢ホテルにチェックインする。休憩後、徒歩でレストラン「洋房湯館」へ移動し夕食を取り、午後10時頃ホテルへ戻る。

5日目 7月25日(金)

午前6時30分頃ホテルをチェックアウトし、タクシーで1時間程かけて武漢天河国際空港へ移動する。午前8時50分発、12時50分着の便で関西国際空港に到着し、公用車で関市へ戻る。

※1 未蘇湾都市更新プロジェクト

未蘇湾都市更新プロジェクトは、黄石市の代表的な都市再生の取り組みであり、湖北省住建庁が発表した《完全なコミュニティを中心とした都市更新事例集（第1期）》にも選ばれています。）

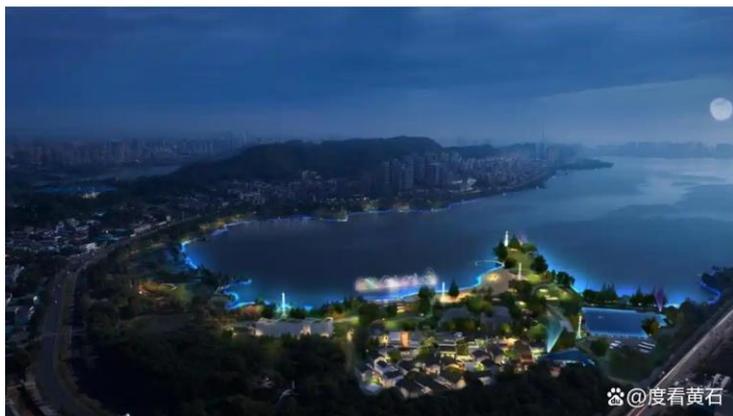
抜群の立地：磁湖のほとり、湖北理工学院の近隣という便利な場所にあり、湖・道路・大学がそろった恵まれた環境。

文化と自然の融合：地域の風景や古民家の一部を保存し、鄂東南の歴史文化と蘇軾（そしよく）の詩の要素を取り入れた趣のある観光スポットへ。

多機能な地域づくり：文化クリエイティブ、美食街、観光・レジャー、若者向け住宅などが一体となった「若者に優しいコミュニティ」。

先進的な開発方式：民間資本の導入、土地の流動化、新しい業態、そして「共同創造」の考え方で、街の更新と地域づくりを両立。

ゴールデンウィーク中には多くの観光客が訪れ、飲食店や砂浜、音楽イベント、キッズパークなどが大盛況。黄石市民や旅行者にとっての人気スポットとなりました。このプロジェクトは、黄石が“工業のさびついた地帯”から“魅力的な生活空間”へと変貌している象徴と言えるでしょう。



※2 勁牌展示館

勁牌展示館は、中国湖北省黄石市にある「勁牌有限公司」が運営する企業展示館で、保健酒業界の歴史や技術、製品などを体験できる施設です。

○展示館の概要

所在地：湖北省黄石市大冶市大冶大道 169 号

建築様式：宮廷式の仿古建築（1995 年建設、2013 年に企業展示館として改装）

○展示内容：

1 階：勁牌企業の紹介

2 階：草本酒の歴史と製造技術

3 階：製品の特徴と品質

4 階：製品の種類と健康的な飲酒方法

○展示の特徴

現代メディア、泥塑（粘土彫刻）、図文展示などを活用

保健酒の試飲体験も可能

宮廷風の建物内での見学は、まるでタイムトラベルのような感覚

※勁牌有限公司（Jingpai Co., Ltd.）は、中国湖北省に本社を置く有名な白酒および保健酒の製造企業です。「勁酒（ジンジョウ）」というブランドで広く知られており、中国の保健酒市場におけるリーダー的存在です。



※3 劉小紅刺繡美術館

○劉小紅（劉曉紅）とは

劉曉紅（湖北省民芸技術継承マスター）は、大冶刺繡（湖北省東南部の大冶市や陽新県などで千年以上にわたり受け継がれてきた伝統工芸で、湖北省の非物質文化遺産にも指定されている。）を継承した。

2016年、彼女のデザインと刺繡作品「星雲の夢」は、中国で初めて無形文化遺産の刺繡作品が宇宙カプセルに埋め込まれ、人間とともに宇宙に進出した天宮2号によって宇宙に持ち込まれ、歴史に名を残しました。2019年、湖北省38紅旗手スタジオを設立し、婦聯執行委員会のサービス機能と38紅旗手のデモンストレーション役割を十分に発揮し、「漢刺繡橋娘」や「女性起業人材」などの無料の刺繡研修公益事業を実施し、5,000人以上の学生を訓練してきました。

○劉小紅刺繡の概要について

技術と芸術性：古典と現代、中式と西式の要素を融合させたデザインが特徴で、伝統を守りながらも革新を取り入れています。

代表作と功績；彼女の作品《星雲之夢》は、中国の宇宙船「神舟十一号」に搭載され、宇宙空間で展示された初の非遺刺繡作品として話題になりました。これは中国の伝統文化を世界に発信する象徴的な出来事です。



※4 黄石第二中学校

○湖北省重点中学と省実証高等学校

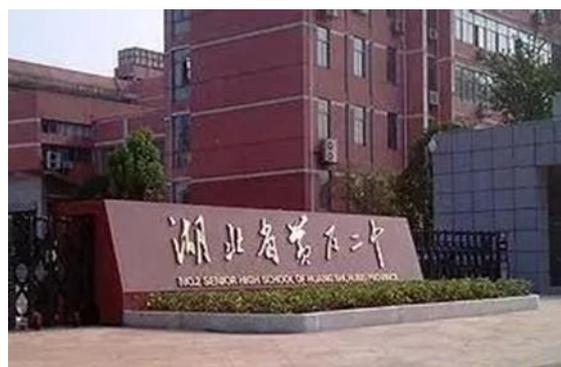
湖北省黄石市にある湖北省黄石第二中学校は、黄石市で唯一の省重点中学校および省級デモンストレーション高校であり、湖北省の8つの学校の合同試験のメンバーであり、全国のトップ100中学校の1つです。この学校は、北京大学、武漢大学、北京師範大学、中国科学技術大学、中国科学院大学、浙江大学などの大学の優れた学生基盤です。

湖北省の黄石第二中学校は1955年に設立され、1978年に「湖北省重点中学校」として認定され、1994年に湖北省で最初の中学校になりました。

2018年に学校の公式ウェブサイトで発表されたデータによると、学校の敷地面積は300エーカー以上で、緑化率は70%以上です。55の教育クラスと2,800人以上の学生があります。現職教職員は257名です。

○中国の教育制度について

中国の教育制度も日本と同じ6.3.3.4制です。小学校6年・中学校3年・高校3年・大学4年です。ただし中学と高校の名称が日本語とは異なり、中学を「初級中学」と呼び、高校を「高等中学」と呼びます。つまり中国の中学と高校はともに「中学」のカテゴリーに入ります。ちなみに中国語で「高校」は大学を意味します。



※5 東昌閣

○東昌閣（黄石市）とは

東昌閣（とうしょうかく）は、中国湖北省黄石市にある歴史的建造物または観光名所の一つです。東昌閣は、「三中の最初の山」として知られる東方山の最高峰にあり、面積は約 22,000 平方メートル、塔の高さは 108 メートルで、中国最大の単一塔の建物であり、黄石市のランドマークです。

東昌閣の変革と発展を促進するために、夏麓区は湖北省で最初の超大規模没入型インタラクティブエンターテインメントプロジェクトの導入に成功しました。これは「没入型文化観光」をコアとし、ゼロデイスタンスインタラクティブシアターを出発点とし、ニューメディアコミュニケーションをガイドとし、歴史的および文化的探求をメインラインとし、オンラインおよびオフラインの現実の没入型インタラクティブゲームを開発しています。歴史的および文化的体験、研究と普及、無形文化遺産の手工芸品の継承、シーンのドレスアップ体験、没入型インタラクティブパフォーマンス、ハイテクサウンド、電気と光のショー、超大型チームスクリプトの殺害、興味深い秘密の部屋の探索など、多くの体験型プロジェクトをカバーしています。



※6 黄石臨空越境EC産業パーク

○黄石臨空越境EC産業パークの概要

黄石臨空越境EC産業パーク（黄石臨空跨境電商产业园）は、中国湖北省黄石市に位置する、急成長中の越境EC（電子商取引）拠点です。鄂州花湖国際空港から30km圏内に位置し、空港物流との相乗効果を狙います。この産業パークは、越境ECを通じて地域経済の活性化と国際貿易の促進を目指す官民連携プロジェクトです。特に「ライブコマース」や「スマート物流」などの新技術を活用しています。

所在地：黄石市下陸区老下陸街道

総面積：約8.14平方キロメートル

核心区：1500ムー（約100万平方メートル）

開園日：2024年6月22日

運営企業：浙江必創科技グループ

○産業エコシステムと目的

産業クラスター形成：「電商＋ライブ配信」モデルを中心に育成

企業支援：国際貿易、物流、サプライチェーン金融、ライブECなど多分野に対応

人材育成：年間500人以上の越境EC人材を育成する実践基地を設置



※7 美爾雅（メリヤ）服飾有限公司

○美爾雅服飾有限公司の概要

所在地：湖北省黄石市团城山開發区桂林南路8号小区（美爾雅工業園）

登録資本：1,050万米ドル

企業形態：有限責任会社（外商投資、非独資）

法定代表人：楊開孫

従業員数：約473名（2023年時点）

事業内容：高級紳士服（スーツ・コートなど）の製造・販売を中心とした繊維・衣料品企業。中国国内外向けの輸出拠点としても機能し、年間15万着以上の中高級服飾を生産。

グループ構成：湖北美爾雅集団有限公司の傘下企業であり、同グループは中国最大級のスーツ・ファッションメーカーの一つ。

技術革新：2019年より「服装智能化改造プロジェクト」を開始し、スマート製造モデルの構築に取り組んでいます。

市場地位：上海証券取引所に上場（証券コード：600107.SH）しており、中国紡績業界でも影響力のある企業。

○特徴と強み

中国国内で15年連続輸出トップクラスの実績

高品質な毛織物製品と精密な縫製技術

海外ブランドとのOEM・ODM協力も多数

黄石市の「湖北東部服装回廊」建設における中核企業

※サンテイ株式会社と湖北美爾雅集団有限公司の合弁会社として、1985年に設立

